

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 甲斐百合子

一般質問の通告について

令和6年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 新年度予算について	<p>【趣旨説明】</p> <p>令和6年度、経済は「緩やかな回復傾向」であるものの、世界の情勢や物価の高騰、また、能登半島地震の影響も留意する必要がある状況であり、その中で本町は、臨海部企業の固定資産税による増収の見込みにより、過去最大規模の予算編成となりました。</p> <p>歳出では、東大高保育園・あおぞら園・学校給食センターや富貴児童クラブ整備事業など、現在進行中またこれから始まる大型事業の着実な実施と、町政70周年記念事業、そして、町民が安心して生活できるまちづくりへの具体的な各種の施策、「住み良いから住みたい町」の具現化としての施策を、積極的に推進される事を期待したいと思います。</p> <p>公明党議員団としても、引き続き町民のみなさまからの声をしっかり届けてまいる決意です。</p> <p>そこで、以下質問します。</p> <p>【質問事項】</p> <ol style="list-style-type: none">① 新年度予算について、物価高騰の影響に対して、どのようなお考えで積算をしていますか。② 新年度予算について、公明党議員団として会派要望や一般質問などでご提案した中で、盛り込まれた事業には、何がありますか。

2. 災害時の 避難について

【趣旨説明】

本年元旦から石川県能登半島で起こった大規模地震により、多くの方が被害を受け、未だつらい生活を余儀なくされています。心よりご冥福とお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧復興をお祈りします。

この震災は、私たちにも「災害は待ってくれない」事を強く感じさせました。特に一人で避難をすることが困難な方々は、より強い不安を抱えています。

東日本大震災の教訓として、平成 25 年に避難行動要支援者名簿の作成が市町村に義務づけられ、令和元年台風 19 号等の災害を受け、災害時の避難支援を実効性のあるものとするため、令和 3 年 5 月「災害対策基本法」の改正により、避難行動要支援者について、個別避難計画の作成が市町村の努力義務とされました。その後、内閣府が公表した、令和 5 年 10 月 1 日時点の個別避難計画の進捗状況の把握によると、市町村 1741 団体における個別避難計画の着手済みは、1474 団体の 84. 7%になったものの、そのうち、全部策定済みは 151 団体 8. 7%で 1323 団体 76%は一部策定済みとのことでした。

私も、個別避難計画の作成が市町村の努力義務となった令和 3 年の 9 月議会において、個別避難計画を福祉部局参画のもと進める旨の一般質問をさせていただきました。その際、羽山町長から「避難支援者の方々や福祉関係者に個別避難計画の目的、制度概要、作成の必要性等について理解していただくための説明を行い、個別避難計画の作成を進めてまいりたいと考えている。」との力強いご答弁を頂戴しました。また、会派要望の重点要望にも毎年あげさせていただいています。しかしながら、未だ個別避難計画作成に関して、福祉部局参画については、進んでおられないように感じています。実際、災害発災時には福祉支援者が助けにくる事は出来ません。地元の地域の方々に支援者となっていただき、共に避難していただく必要があります。そういう意味で、地域の自主防災会中心に作成いただく事に異論はありません。しかしながら、障がいのある方や重度の在宅介護の方、医療ケア児のいるご家庭などは、平時において地域の方々につながっているとは限りません。また、区に未加入の世帯も多くなっている現状もあります。

いざ、災害が起こったときに、誰一人取り残される事のないように、作成するのが個別避難計画です。福祉部局が参画・連携することにより、当事者やご家族、また地域の方々も安心して個別計画を進めていくことが出来るのではないのでしょうか。

昨年 12 月議会から 3 ヶ月しか経過しておりませんが、あらためて現在の進捗状況および今後の方向性をお聞きしたく、また、災害時には、避難がよりスムーズに行われ、奇跡ではなく、全ての町民の生命が守られますよう、以下質問します。

【質問事項】

- ① 個別避難計画作成について、進捗状況はどうなっていますか。
- ② 個別避難計画作成において、福祉部局の参画および連携について、どのような取り組みをお考えですか。
- ③ 災害発災から、避難所開設・避難までの流れはどのようですか。
- ④ 災害時の福祉避難所開設・移送について、本町において、どのような課題が考えられますか。
- ⑤ 個別避難計画に基づいた避難訓練実施について、どのようにお考えになりますか。
- ⑥ 富士市では、避難所の空き状況や、避難行動要支援者が近くにいる支援者に、助けを求めることができる防災アプリの導入・活用をしています。本町でも防災アプリの導入をしてはどうでしょうか。